

研究利用管理番号

1904001-1

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明 用課題名 (括弧内は申請課題名)	新しい凍害保護液が移植用さい帯血の保存に使用できるか確認するための研究 (新規臍帯血凍害保護液の有用性に関する検討-解凍後の幹細胞回収率の向上等を目指して-)
研究期間 (西暦)	2019年4月 ~ 2023年3月
研究機関名	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター
研究責任者職氏名	製剤部 製剤部長 木村 貴文

研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等
提供していただいたさい帯血は、移植に使用されるまでの間、液体窒素の中で凍結保存をしています。さい帯血を凍結する際に、細胞を保護する目的で凍害保護液をさい帯血に加え凍結しています。
凍害保護液の中に含まれている人工多糖体デキストランという物質により、さい帯血移植を受けた患者さんに悪心、嘔吐といった副作用が稀に起こる場合があります。人工多糖体デキストランを含まない新しい凍害保護液を用いた凍結保存方法の確立が求められています。
本研究では、従来の凍害保護液を使用して凍結保存したさい帯血と、新しい凍害保護液を使用して凍結保存したさい帯血の幹細胞機能(有核細胞、CD34陽性細胞及びコロニー形成細胞の各回収率)について比較し、新しい凍害保護液が移植用さい帯血の保存に適しているか確認します。
新しい凍害保護液が使用できるようになれば、より安全で高品質な移植用さい帯血を提供することが可能となります。
- 使用するさい帯血等の種類・情報の項目
さい帯血等の種類：調製保存されないさい帯血
さい帯血等の情報：なし
- さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名
共同研究機関はありません。
- 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》
さい帯血等のヒト遺伝子解析： 行いません。 行います。
《研究方法》
細胞数不足等の理由により調製保存されないさい帯血を使用して、従来の凍害保

護液で凍結保存したさい帯血と新しい凍害保護液を使用して凍結保存したさい帯血の幹細胞機能（有核細胞数、CD34 陽性細胞数、コロニー形成細胞数等）を比較します。新しい凍害保護液を使用したさい帯血が、従来の凍害保護液を使用したさい帯血と同等もしくはそれ以上の結果が得られるか確認し、移植用さい帯血の保存に使用可能かどうか検討します。

- 5 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。
- 6 上記5を受け付ける方法
日本赤十字社九州さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究使用の停止を希望される方は当さい帯血バンクまでご連絡下さい。
電話：092-921-1435

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 製剤部
担当者	木村 貴文
電話	072-643-1021
Mail	t-kimura@kk.bbc.jrc.or.jp